

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	3	3	スポーツ探究科（選択者）

使用教科書	副教材等
日本史探究（清水書院）	最新日本史図表（第一学習社）

科目の目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
②思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	
①知識・技能：小テスト、定期試験 ②思考・判断・表現：定期テスト、提出物、対話活動での活動観察 ③主体的に学習に取り組む態度：授業への取り組み状況、提出物の提出状況、授業の振り返り、小テスト	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	序	私たちはなぜ歴史を学ぶのか	歴史への関心を高めるとともに、歴史を学ぶ視点や意義、歴史資料の特性についての関心と課題意識を高める。		○	○
	黎明期の日本列島と歴史的環境	黎明期の日本列島と歴史的環境	・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ・自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・黎明期の日本列島と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
		歴史資料と原始・古代の展望	・原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 ・前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ・歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
5	原始・古代の日本と東アジア	古代国家の形成と東アジア	・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・古代国家の形成、古代の政治・社会や文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
		古代国家の推移と社会の変化	・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ・地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
6	中世の日本と世界	中世への転換と歴史的環境	・政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代の転換を理解する。 ・権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・古代から中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
		歴史資料と中世の展望	・中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 ・前章の学習を踏まえ、古代からの時代の変化に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ・歴史資料と中世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○
		武家政権の成立と展開	・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解する。 ・公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・武家政権、宗教と文化の展開について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	○	○	○

7	中世の日本と世界	武家政権の変容と中世の社会	<ul style="list-style-type: none"> 政治や文化の多元化, 多様化, 国際関係の変化などを基に, 地域権力の成長, 社会の変容と文化の特色を理解する。 社会や経済の変化と影響, 東アジアの国際情勢の変化とその影響, 地域の多様性, 社会の変化と文化の関係などに着目して, 主題を設定し, 中世の国家・社会の変容について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 武家政権や社会の変容と文化の特色について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
	近世の日本と世界	近世への転換と歴史的環境	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権の政治・経済政策, 貿易や対外関係などを基に, 中世から近世への時代の転換を理解できる。 村落や都市の支配の変化, アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して, 中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し, 表現できる。 時代の転換に着目して, 近世の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を通観する問いを表現できる。 	○	○	○
9	近世の日本と世界	歴史資料と近世の展望	<ul style="list-style-type: none"> 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に, 資料から歴史に関わる情報を収集し, 読み取る技能を身につける。 前章の学習を踏まえ, 中世からの時代の変化に着目して, 近世の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ, 資料を通して読み取れる情報から, 近世の特色について多面的・多角的に考察し, 仮説を表現する。 歴史資料と近世の展望について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
		幕藩体制の成立と近世の社会	<ul style="list-style-type: none"> 支配秩序や対外関係, 技術・産業・文化の展開などを基に, 幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解する。 織豊政権との類似と相違, アジアの国際情勢の変化, 交通・流通の発達, 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して, 主題を設定し, 近世の国家・社会の展開について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 幕藩体制の確立や近世の社会と文化について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
		幕藩体制の動揺と社会の変化	<ul style="list-style-type: none"> 政治体制や社会の動揺, 産業・学問の発展, 庶民の生活や文化などを基に, 幕藩体制の変容, 庶民の生活と文化の特色, 近代化の基盤の形成を理解する。 社会・経済の仕組みの変化, 幕府や諸藩の政策の変化, 国際情勢の変化と影響, 政治・経済と文化の関係などに着目して, 主題を設定し, 近世の国家・社会の変容について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 近世の政治や社会の変容, 近代化の基盤について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
10	近現代の地域・日本と世界	近代への転換と歴史的環境	<ul style="list-style-type: none"> 対外関係や政権の転換を基に近世から近代への時代の転換を理解する。 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化, 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して, 近世から近代への国家・社会の変容について, 多面的・多角的に考察し, 表現する。 近代への転換と歴史的環境について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
		歴史資料と近代の展望	<ul style="list-style-type: none"> 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に, 資料から歴史に関わる情報を収集し, 読み取る技能を身につける。 前章の学習を踏まえ, 時代の転換に着目して, 近代の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ, 資料を通して読み取れる情報から, 近代の特色について多面的・多角的に考察し, 仮説を表現する。 歴史資料と近代の展望について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
		近代国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新, 自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 文明開化の風潮, 条約改正などを基に, 立憲体制への移行, 国民国家の形成, アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 アジアや欧米諸国との関係, 地域社会の変容, 欧米の思想・文化の影響などに着目して, 主題を設定し, 近代の政治の展開と諸外国との関係の確立について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 日清・日露戦争などを基に, 立憲体制の推移や展開, 国民国家の形成, アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 日清・日露戦争が及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 近代の政治の展開と国際的地位の確立について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 明治維新や国民国家の形成, 産業の発展の経緯, 近代の文化の特色について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 アジアや欧米諸国との関係の変容について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
11	近現代の地域・日本と世界	政党政治と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦, 社会運動の動向, 政党政治などを基に, 政治参加の拡大の意義, アジアや欧米諸国との関係の変容, 大衆社会の形成を理解する。 地域社会における労働や生活の変化, 第一次世界大戦が及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 国民の政治参加の拡大と日本の工業化の進展について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 アジアや欧米諸国との関係の変容や大衆社会の形成について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
		第二次世界大戦と日本の社会	<ul style="list-style-type: none"> 恐慌と国際関係, 軍部の台頭と対外政策, 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に, 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会, 国民生活の変容を理解する。 国際社会やアジア近隣諸国との関係, 政治・経済体制の変化, 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して, 主題を設定し, 第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 第二次世界大戦に至るまでや戦時中の政治や社会, 国民生活の変容について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。 	○	○	○
12	近現代の地域・日本と世界	現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 日本と世界の相互の関わり, 地域社会の変化, これまでの近現代の学習で見出した画期などに着目して, 事象の意味や意義, 関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し, 日本の近現代を通じた歴史の画期を見出し, 根拠を示して表現する。 第3章までの学習を振り返るとともに, 科目のまとめである次の学習へのつながりを見出す。 	○	○	○
2・3		現代の日本の課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習の成果を活かし, 主題に関する歴史的経緯を踏まえて, 現代日本の課題を理解する。 歴史の画期, 地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係, それ以前の時代からの継続や変化などに着目して, 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について, 適切な主題を設定して多面的・多角的に考察し, 構想して表現する。 これまでの自身の学習を振り返って調整するとともに, 生徒自身が主体となる社会への見通しを示す。 	○	○	○